

事務事業評価シート

(H.28)No.	5001	(H.27)No.	5001
-----------	------	-----------	------

事務事業名	財産管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	
総務部	契約管財室	羽後 和秀	

会計区分	事業コード	022001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	財産管理費	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 財産管理費	財産管理費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	新しい時代を拓く自立と協働による地域経営
	基本施策	3	持続可能な市政運営
	施策	2	効果・効率的な市政
	小施策	4	行政資源の有効活用
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
普通財産の効率・効果的な管理と新たな財源の確保を図るため、財産の活用や処分等について検討を進めます。
事業内容
市有財産維持管理事業(普通財産の管理)

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年4月に普通財産へ移行された未利用財産である旧蔵持教職員住宅については、売却に向け事務を遂行しました。 廃校学校の3校については、それぞれの管理区分に基づき、適正な維持管理を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 市有財産の適正な維持管理と有効活用の推進を図ります。

H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
<ul style="list-style-type: none"> 市有財産の適正な維持管理と有効活用の推進を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 市有財産の適正な維持管理と有効活用の推進を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 市有財産の適正な維持管理と有効活用の推進を図ります。

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	
①直接事業費	14,230千円	11,117千円	11,117千円	11,117千円	11,117千円	
内訳(千円)	国・県支出金	1,650				
	地方債					
	その他()	557	414	414	414	
	一般財源	(0) 13,673	9,053	10,703	10,703	10,703
人工数	職員	1.50人	0.90人	0.90人	0.90人	0.90人
	臨時職員等	0.15人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
②概算人件費	(0千円) 11,655千円	7,010千円	7,010千円	7,010千円	7,010千円	
①+②総事業費	(0千円) 25,885千円	18,127千円	18,127千円	18,127千円	18,127千円	

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
普通財産の適正な維持管理を行うとともに、引き続き地域や事業者等へ貸付を行いました。また、管財室の所管の未利用財産については、財源確保を図るため売却事務を進めました。	未利用財産については、地域の意向に沿った貸付を行うなど有効活用を図り、あわせて財源確保のため、売却事務を進める必要があります。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	地元や事業所等と連携し、未利用財産の利活用を行うことにより、地域振興と市の管理経費の削減を図ります。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	施設の敷地等の除草作業を地域づくり組織に委託しています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
市有財産を適正に管理する事業であり、現在の手法を基本として引き続き推進します。	